

いつも北海道新聞、ミニコミ新道をご愛読いただき誠にありがとうございます。



北海道新聞厚地販売所
所長 厚地 定明

1996年2月、義父である先代・登坂寛が北33条東9丁目の札幌新道沿いに道新登坂販売所を開所。同年9月、「新聞には載らないような身近な出来事や情報、アットホームな話題を取り上げたミニコミ紙」として創刊しました。2012年に代表を引き継ぎ、2016年10月に販売所名を厚地販売所に変更した後も継続し、創刊から25年の月日を経て本日600号を迎えました。当初3000部だった発行部数も現在は区域も広がり7000部となりました。これまでミニコミ新道を発行し続けることができたのも、読者のみなさま、地域のみなさまの支えがあったからこそと感謝の気持ちでいっぱいです。

今後も地域のかかわり版として、お店や街の話題、町内会や学校行事など盛りだくさんの情報をお届けすることでみなさまのお役に立てるよう努めてまいります。スタッフ一同、より良い紙面づくりに励んでまいりますのでご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。



9月15日、創刊から25周年を迎えました。

600号記念企画

読者アンケート 実施しました 《結果報告》

595号(6月10日発行)で読者のみなさまにアンケートをお願いしたところ、メール・ハガキ・FAXにて39名の方から回答をいただきました。7000世帯配布に対し39の回答とは、あまりにも少ないのでは?というご指摘もあろうかと思いますが、丁寧に書かれた一つ一つのご意見が心温かく、私たちスタッフの心に響くものでした。そして大いに励みとなりました。どうもありがとうございました。みなさまの貴重なご意見を今後の紙面づくりの参考にさせていただきます。

※ご協力いただいた方には回答者全員プレゼントのほか、「600円相当お野菜セット」、「600mlステンレスタンブラー」、「600ピースジグソーパズル」を抽選にて各3名様へお届けしました。

読者のみなさまからの投稿也大歓迎!!
ご近所の気になるお店、すてきな人、かわいい動物など
みなさまからの情報をお待ちしております。



① これまでミニコミ新道に掲載された中で印象に残っている記事・広告がありましたら教えてください。

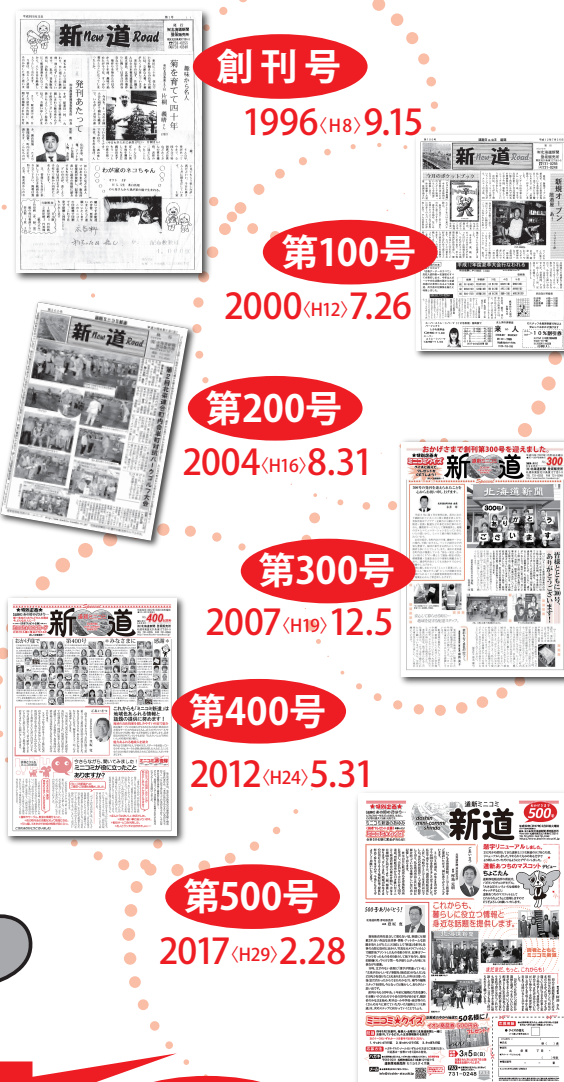
82%が「ある」と回答。内容は様々でしたが、飲食店、食品販売店、バッチングセンターの記事が目立ちました。コロナ禍でがんばっているお店を応援したい、協力したいというメッセージも。

② ミニコミ新道の掲載記事や広告を見て、ご自身が行動したこと、影響を受けたことはありますか? (複数回答)

- ・掲載店へ行った...21 *数字は人数
- ・買い物をした...16
- ・応募した...7
- ・誰かに伝えた...6
- ・ミニコミ特典を利用した...5
- ・問い合わせた...5
- ・飲食した...3
- ・施術を受けた...2
- ・鑑賞した...1
- ・参加した...1
- ・仲間になった...1

54%が「掲載店へ行った」と回答。買い物や、飲食店でのテイクアウトも利用したとの事。コロナ収束後に出かけたという意見もありました。

*回答者の年齢(人)
40代(5) 50代(10) 60代(6)
70代(9) 80代(2) 不明(7)



おかげさまで本日発行
*次号601号は明日発行予定です。

